

① はじめのおいのり、または、さんび (なるべくみんなが知っているもの)

② 礼拝説教に関係した短いお話し ・第1サムエル16章1節～13節

イスラエルの最初の王様は、サウル王様でした。しかし、サウル王様は、神様の言われる事に、従いませんでした。そこで、神様は、サウルさんを王様から、やめさせる事に決めました。



そして、将来の新しい王様を選ぶ為に、サムエルさんを、エッセイさんの家に行くように言われました。サムエルさんは、一番上のお兄さんを見たとき、この人こそ、将来の王様にふさわしい、立派な人だと思いました。しかし、神様は、「その人ではない、人は背が高いとか、強そうだとかで、王様にふさわしいか、どうかを決める。しかし、わたしは、その人の心が、ふさわしいか、どうかで決める。」と言われました。

サムエルさんの前に、2番目のお兄さん、3番目、4番目と次々ときまですが、皆、違いました。そして、最後に、ダビデさんが来ました。すると、神様は、「この人こそ、将来の王様だ。」と言われました。

ダビデさんは、神様の事を信じ、神様が喜ばれる事に、いつも、心をこめて行う人でした。

だから、お父さんから頼まれた、羊のお世話をする事も、心を込めて行っていました。神さまは、そのダビデさんの心を、大変に喜ばれて、将来の王様として選ばれました。



私たちも、他の人が、ほめてくれなかったとしても、神様が喜ぶ事の為に、心を込めて、いっしょうけんめいに、する人になりましょう。

神さまは、そのような心を持つ人を、探しておられます。

③ 聖書の言葉を2回告白しよう。

人はうわべを見るが、主は心を見る。第1サムエル16章7節

④ チャレンジしよう

あなたは、今週、神様が喜ばれる事の為に、どのような事を、

心を込めて、行っていきたいですか。

---

---

---

